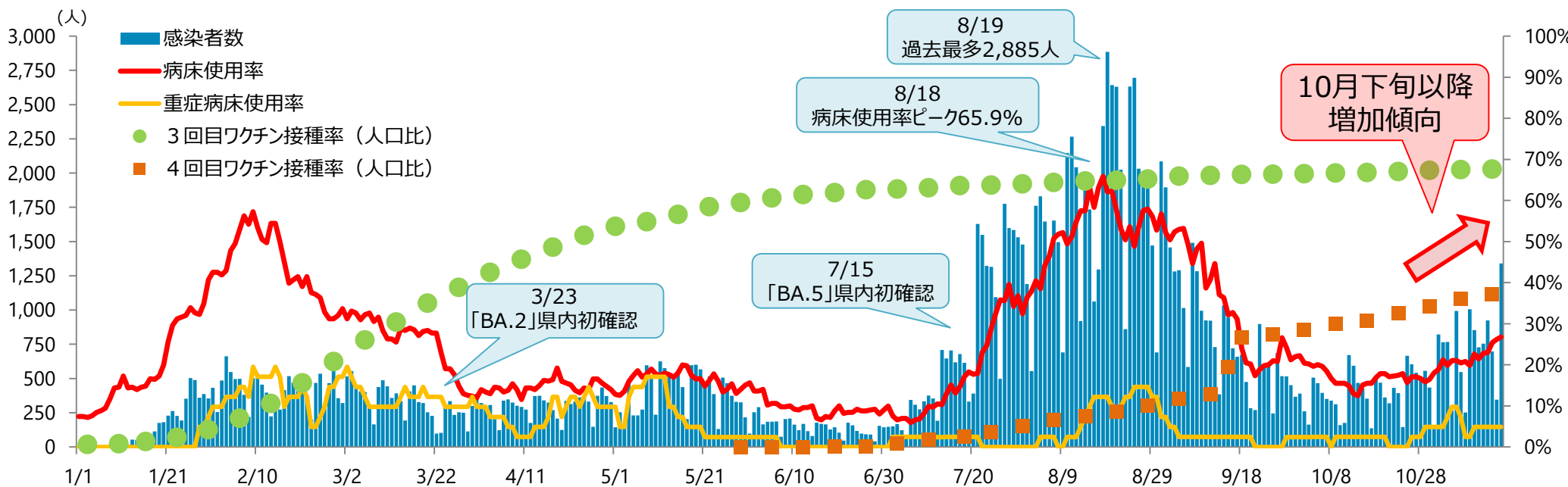




# 県内の感染状況 (11/15 (火)時点)

- 10月下旬以降 **新規感染者数は増加傾向**
  - 本日 **1,340人** 直近1週間 **5,642人** (病床使用率 **26.8%** 重症病床使用率 **4.9%**)
    - ・ **第7波の立ち上がり**である7月中下旬と同様の状況 (7/22 : 1日1,549人 週計5,810人)
  - 現時点で **発熱外来や入院病床はひっ迫していない** 状況
- ➡ **新型コロナとインフルエンザの同時流行を見据え 今後の動向に注視が必要**



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11/1~15
入院率 (入院者数 / 感染者数)	10.50%	5.10%	3.30%	3.20%	2.90%	3.30%	2.43%	2.03%	1.68%	2.53%	1.75%
重症化率 (死亡者を含む) (重症者 (死亡者含む) 数 / 感染者数)	0.23%	0.43%	0.24%	0.14%	0.03%	0.09%	0.03%	0.12%	0.13%	0.11%	0.06%

← BA.1 → BA.2 → BA.5

# 新型コロナ・インフルエンザ同時流行を見据えた対応



- 新型コロナとインフルエンザが同時流行した場合  
 ピーク患者数：7,200人/日（コロナ4,000人+インフル3,200人） ➔ 診療体制：平日 8,000人/日 を確保  
 ※国の想定：全国で75万人/日（コロナ45万人+インフル30万人） ※土曜日 5,000人 日祝日 2,000人
- 同時流行の段階に応じ 外来診療の体制強化（量的拡充、診療効率化）や 陽性者登録・フォローアップセンターの対象者拡充 など 発熱患者増加への対応に取り組む
- 県民の皆様には 新型コロナ・インフルエンザ両方のワクチン接種 や 抗原検査キット・解熱鎮痛剤の準備 など 今のうちから 同時流行への備え をお願いします

◆ 同時流行が比較的抑えられている状態  
（第1段階）

◆ 同時流行による医療負担が高まっている状態  
（第2段階）

◆ 同時流行が深刻化し医療負担が顕著な状態  
（第3段階）

県民

- ・新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンの両方接種
- ・新型コロナ検査キット、解熱鎮痛薬の準備などの備え

- ・軽症者は土日祝日ではなくなるべく平日に受診
- ・(新型コロナ陽性の)中学生～64歳は陽性者・登録フォローアップセンターへ登録

医療機関等

- ・ワクチン同時接種体制の確保

【外来診療の量的拡充】

- ・診療時間の延長
- ・休日当番医の拡充

【外来診療の効率化】

- ・新型コロナ自己検査
- ・電話・オンライン診療
- ・インフルエンザの可能性が高い場合（家族がインフルエンザ等）検査なしで診断

県・保健所

- ・新型コロナやインフルエンザの感染状況公表
- ・県民へのワクチン接種や同時流行への備えを呼びかけ

- ・陽性者登録・フォローアップセンターの対象者の拡大  
18～39歳 → 中学生～64歳
- ・県民への平日受診の呼びかけ

# 新型コロナ・インフルエンザ同時流行に備えましょう



新型コロナとインフルエンザの同時流行が生じる可能性があります  
安心して自宅待機・療養できるよう 必要な備えをお願いします

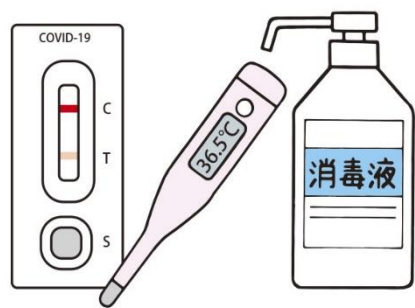
自宅待機・療養する際に備えておきたいもの（※以下は一例です）

## くすり類



- 解熱鎮痛薬
- 咳止め
- 服用中の薬  
(2週間分程度)
- お薬手帳

## 衛生品



- 検査キット
- 体温計
- アルコール消毒液
- マスク
- ビニール袋

## 食べ物・飲み物



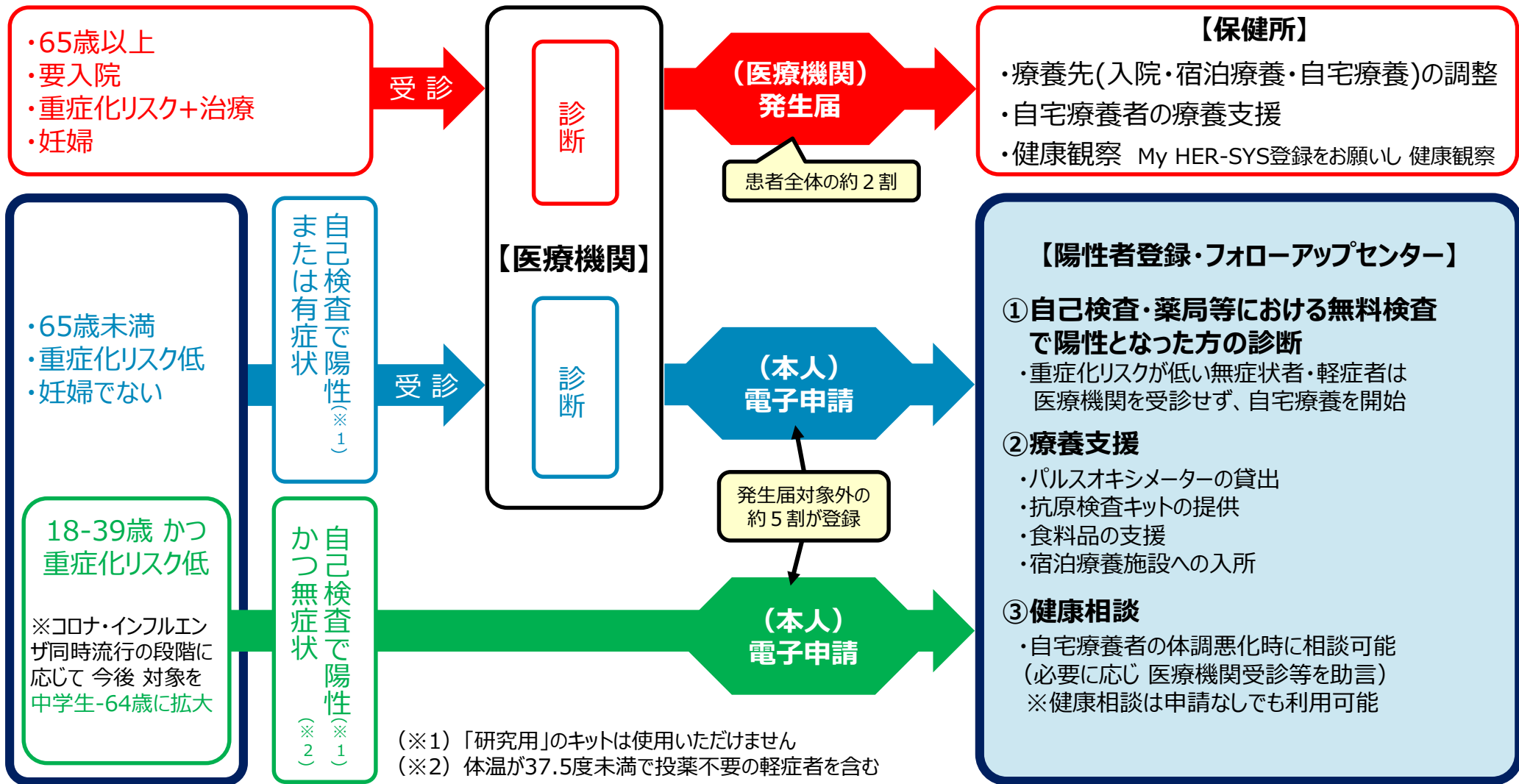
- 主食(うどんなど)
- ゼリー食品・飲料
- インスタント食品
- 冷凍食品
- スポーツドリンク

## 日用品



- トイレットペーパー
- ティッシュペーパー
- 生理用品
- 幼児用おむつ
- 使い捨て手袋

# 新型コロナが疑われる場合(発熱時等)の対応



※ 自己検査で新型コロナ陰性であった場合でも  
発熱がある場合は インフルエンザの可能性を含め かかりつけ医を受診してください



# 医療・検査体制

## ◎最大確保病床・運用病床

○ 最大確保病床 504床 → **518床** (に拡大(+14床))  
 ○ 運用病床 フェーズ3(314床) → **フェーズ4(395床)** (に引き上げ)

		病床数	医療圏別		
			南加賀	石川中央	能登
現 状	最大確保病床 (フェーズ5)	504	75	341	88
	運用病床 (フェーズ3)	314	61	192	61
体制強化	<b>最大確保病床 (フェーズ5)</b> (本日11/15から適用)	<b>518</b>	<b>78</b>	<b>351</b>	<b>89</b>
	<b>運用病床 (フェーズ4)</b> (本日各病院に要請、11/22から適用)	<b>395</b>	<b>64</b>	<b>259</b>	<b>72</b>

## ◎ 無料検査・一斉検査

11月30日まで (一斉検査は当面の間実施)

検査の種類	対 象	備 考
<b>無料検査</b> 県内277薬局	無症状の 県民の方	【変更なし】 重症化リスクの低い陽性者 (18-39歳・基礎疾患なし) は 陽性者登録・フォローアップセンターに申請・登録
<b>一斉検査</b> 感染拡大・重症化 リスクのある施設	病院・介護施設・ 保育所・小学校等 の職員	【拡充】 <b>抗原検査キットの配布</b> (200万回分) により <b>検査頻度を増加</b> (2週間に1回 → <b>10/31- 週2回</b> 程度)

※症状のある方 (発熱、のどの痛み等) は **診療・検査医療機関を受診**してください。

# ワクチン接種の促進

接種は強制ではありませんが **積極的な接種をお願いします**  
 < 新型コロナワクチンとインフルエンザワクチンは **同時接種が可能** です >

## ◎ 新型コロナワクチン

- 一般（12歳以上）オミクロン株対応ワクチン  
2回接種完了し 最終接種日から **3カ月以上**経過した方
- 小児（5-11歳）3回目接種 2回目接種から**5カ月以上**経過した方
- 乳幼児（6カ月-4歳）接種 どなたでも接種可

いしかわ県民ワクチン接種センター  
 オミクロン株対応ワクチン接種 実施中  
 ・ 県庁19階展望ロビー  
 ・ 毎週土曜（午前10時-12時 午後1時-5時）

		10月	11月	12月	1月	2月	
一般 12歳以上	4回接種済	オミクロン株対応ワクチン接種（3～5回目）					
	3回接種済						最終接種から 3カ月後
	2回接種済						
	1・2回目未接種	従来型	3カ月後にオミクロン株対応ワクチンの接種が可能（12月末で国から供給終了、無くなり次第接種終了）				
小児 5-11歳	2回目接種から 5カ月後	小児接種（3回目）					
乳幼児 6カ月-4歳		10/24- 乳幼児接種					

## ◎ インフルエンザワクチン

- 全国で**過去最大の供給**（約7,042万人分 ※8月時点）
- 本県にも**随時供給**（すでに約32万人分 ※11月第2週時点）



65歳以上の定期接種対象者の方など  
**希望者は早めの接種を**

# (参考) 県民の皆様へ



## ○医療機関を受診される方へ

→発熱などの症状のある方は、かかりつけ医などの身近な医療機関に事前に電話の上、受診してください

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/zyusin.html>

Google Map上でお近くの診療・検査医療機関を検索できます



→日曜日、祝日は、休日当番医に事前に電話の上、受診してください

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/iryuu/support/iryuukeikaku/kyuukyuu.html>

## ○医療機関を受診するか迷われる方はこちらまで

➤ 「石川県発熱患者等受診相談センター」

0120-540-004 (フリーダイヤル) 24時間対応 (土日祝日含む)



## ○新型コロナウイルス感染症に感染された方へ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/kansennsha.html>



## ○濃厚接触者・感染者と接触のあった方へ

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/noukousesshokusha.html>



## ○無料検査に対応する薬局はこちら

<https://www.pref.ishikawa.lg.jp/kansen/ippankensa.html>



# 皆様へのお願い

新規感染者数が増加傾向にあることに加え、  
この冬は季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されています

改めて **基本的な感染防止対策の徹底** をお願いします

○「三つの密」の回避 ○こまめな手洗い ○効率的な換気 など

特に

## 外出の際には

- ・体調が悪い場合や混雑した場所・感染リスクが高い場所への外出は控える
- ・県をまたぐ旅行などの際には、感染防止対策を徹底

## 飲食の際には

- ・なるべく少人数で黙食を基本
- ・会話の際にはマスク着用
- ・「いしかわ新型コロナ対策認証店舗」の利用  
※事業者は「業種別ガイドライン」を遵守

## 職場では

- ・テレワーク、時差出勤の推進
- ・人が集まる場所での感染防止対策を徹底  
(マスク着用の周知、効率的な換気、手指消毒設備の設置など)
- ・居場所の切り替わりに注意  
(休憩室、更衣室、喫煙室など)

## 家庭では

- ・子どもの感染防止対策を徹底
- ・高齢者や基礎疾患のある方、その家族は、感染リスクの高い行動を控える
- ・エアコン使用時も効率的な換気